

半切四分の一に書くⅡ(8)

締切り(八月二十四日(必着)

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置され 約八年間は、半切への足がかりとして半切四 分の一のサイズ(約六八㎝×十七、五㎝)で条 たのは、平成十一年七月のことで、その前の 幅の基礎を学んでまいりました。 る等の方法もあります。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・ 神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改め 一年間学びましたので、今回はパートⅡにな て条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れし りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。 ている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作

〔読み〕 清風野樹に生ず(明・胡居仁の詩句)

〔大意〕 野辺の林には、すがすがしい涼風がそよぐ。

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大 切です。行の中心、字間、天地のあき等に注 意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用す

お手本をよくみると、各字に大小の違いがあ になります。 う。その方が動きやリズムが出て表現が豊か ることがわかります。潤渇も考えてみましょ

できる方は、書体や崩し方を変換してオリジ でしっかり調べることが肝要です。 ナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に 墨で書いて下さい。 収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱

(作品の出し方)

▼毛筆部=条幅半切四分の一(約六八㎝× 十七、五㎝)に書いて下さい。

▼硬筆部=B5版(二五七㎜×一八二㎜)以下の せん。(フェルトペン・筆ペン可) 用具は自由ですが、細い線は相応しくありま 紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。

出品制限の対象とはしませんが、 毛のどちらか一方に限ります。 出品は硬・

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛 筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績) 作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲 載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

[解

説)

じょう城 せい清 大

である」と答えています。

人の幸福を願うという事は、

誰かを

書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会級位用紙

いに対し、

「神の本質を直視すること

て究極的な幸福とは何か?」という問

トマス・アクィナスは「人間にとっ

中世ヨーロッパの神学者 トマス・アクィナス(三三字)

声

★誰かを…(書体=行書)

も幸福にする事になるでしょう。 愛する事であり、結果的に自分自身を

·9月課題予告(楷書)

後悔がやってくる 怒りの静まる時

▶教範・書範は右課題を「行書」で、 師範は 「楷書」で出書して下さい。

²⁾草書では、遅速、抑揚の変化をつけたリズミカルな運筆が大切です。字形を覚えたら、直線部分は速く、 曲線部分はゆっくりと書くことが基本です。また気分を大きく持つことも重要なポイントです。

(達) (来)

〔変換例〕

(絶)

(時)

人間は絶望に

到った時には

かえって達観出来る

ゆき む村 暢 奥 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

開き直りが大切です。

冷静さを取り戻せば、

前とは違った

い。これ以上失うものはない、という

何も信じられないというのもつら

ないのも又人間です。

そうはいっても、なかなか達観出来

中国の小説家

·9月課題予告(行書)

目で見ることが出来るかもしれません。

悪にも強いというのが 善にも強ければ

一番強力な性格だ

▼教範・ ・師範=行草または草書 書範 = 楷書

ソフォクレス

-5 -

茅間は…

(一八九六~一九八一)

(書体=行草または草書

準初段から六段まで

夏魚

の能

河赤き鉄鎖のはし浸る

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

新入から1級まで



た なか 費 ごう 書
田 中 貴 光 書
▷用具=自由(黒色に限る)
▷用紙=本会段位用紙



た 中 貴 光 書

○用具=自由(黒色に限る)

○用紙=本会級位用紙

月課題予告

級位は「

の河赤き鉄鎖の

はし浸る

て、その端が水の中に浸っている。リートの岸辺から、何に用いるのかわりートの岸辺から、何に用いるのかわ間に、重苦しい夏の川があり、コンク間に、重苦しい夏の川があり、コンク

[鑑賞] 昭和十二年作。〈夏の河〉と

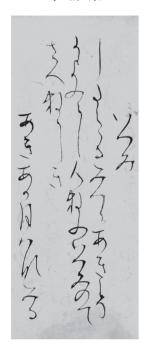
夏の河赤き鉄鎖のはし浸るですないと

しており、都会的な乾いた叙情がある。な句だが、句全体に作者の気力が充実風景な様子をそのまま投げ出したようのうか。コンクリートで固められた殺人がの炭川河口に近いあたりであいら大阪の淀川河口に近いあたりであ

〔古筆参考〕

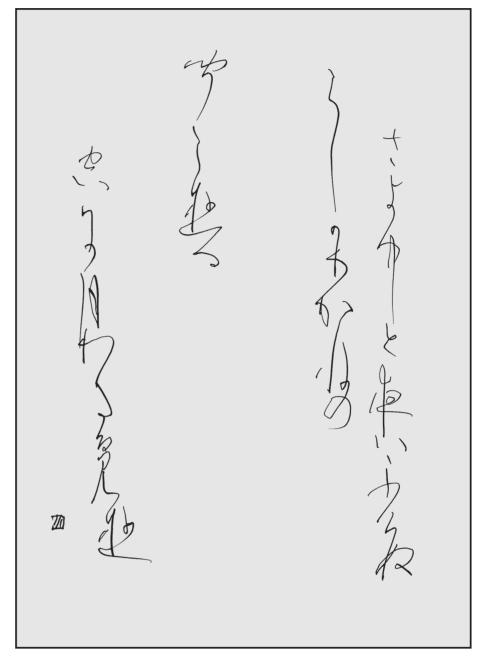
締切り 八月二十四日

[古筆参考] ^{なかつかさしゅう} 中 務 集



さへすゞしき したくゝるみづにあきこそ かよふらしむすぶいづみのて ^町 あき、あか月はなみる

いづみ



書

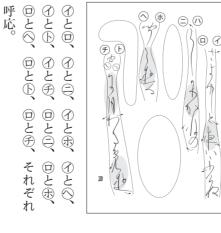
瀬せ 舟り 香さ

築な

解説

[出典] 古今和歌集 (新潮日本古典集成

のわたってゆくのが見える。



余白一が面を作る。

③ の位置に注意。 密の動き大切。

✓の方向大切。

木の間よりもりぐる月のかげ見れば>9月課題予告 心づくしの秋は来にけり

きこゆる空に月わたる見ゆき夜中と夜はふけぬらしかり が

ねの

なったようだ。雁の鳴く声がどこから

〔歌意〕夜が更けて、もう真夜中に

か聞こえてくる。その空に、明るい月

文 のページ 実 用

締切り 8月24日(必着)

空気を胸いっぱいに吸い込んで、流しております。早朝の清々しい 夏の暑さを乗り切ろうと思います。 です。私たちも参加して軽く汗を ラジオ体操する子供達でにぎやか 夏休みに入ると、近くの空き地

両課題とも、書体変換は自由です。

用具=はがき、横書き課題ともに自由

題は一般部段位用紙を横に使用 用紙=はがき課題ははがき用紙、 新入から師範まで、どなたでも出書でき

作品の出し方

す。成績は評価により毎月変わります。

久年生胸いけいに吸い込んごに流してよります。早朝の情をしい 夏の暑さと乗り切ろうと思います。 ラジオ体様するるはなではやか 夏休ろに入ると、近くの空き地は 了す。私ならも参かして軽く行る

※手本は水性ボールペン使用

横書き課題

ごう郷 ぉ尾 光 翠 書

オリンピックの聖火は、ギリシアにて 太陽勢で造火され運ばれる。 岩手県久慈市

※手本はつけペン使用。 ★三行目は**、指定の地名**と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 8月24日(必着)

奥な 村ら 暢ぶ 臨

準初段から師範まで

須す

新入から1級まで(行書)

田だ 葉さ 書

〔出典〕集字聖教序(672) **[筆者]** 王羲之法書より集字 〔読み〕経の流施し、日月を将って

〔読み〕涼は開く竹下の扉

[大意] 竹林の下の窓には涼しい風が吹いてくる。

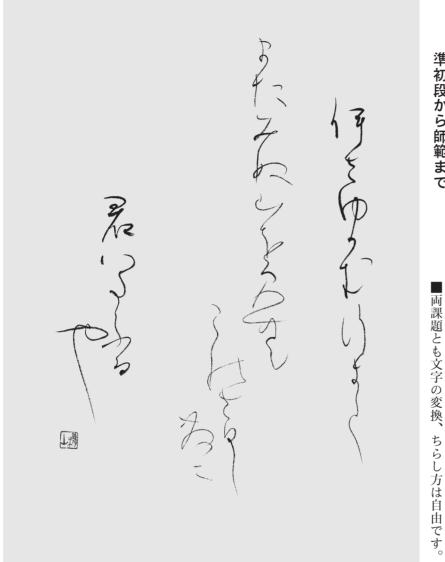
日

一般部毛筆かな課題

準初段から師範まで

づけさにた

か



〔出典〕若山牧水

いざ行

か可

このさびしさに君は耐ふるやな行きてまだ見ぬ山を見む

(歌意) さあ、ともに行こう。行ってまだ見たこともない山を見よう。だが、 この寂しい旅に、あなたは耐えることができるであろうか。

新入から1級まで かふ蟹や蓼の 浅さ 花煮 書

〔出典〕石田波郷

[**句意**] 蓼の花の咲くしづかな小流れに、沢蟹が小さな鋏をあげて戦っ ている。いかにもしづけさに耐えられずに、戦っているように 思われたのである。

井い 機き 山ざん 先 生

般部毛筆細字課題

般部毛筆条幅課題

荻ぉ 田た 蒼き 仙せん 書

観夏雲悟書法

〇〇迂人書

八月二十四日(必着)

半

切(一三六m×三五m)

から運筆の法を悟った。 初出品の方へ 〔大意〕夏の雲の動き

姓名·毛筆漢字成績 を、作品左下に必ず 支部名・会員番号・ お書き下さい。

あのえ火大気がや国

層のやち切から

半紙 (3 3 4 mm × 2 4 0 mm)

輪を一続に眺めません

秋山万里子

こう香 と藤 ば梅 伊 書

難かったです。

る方で、厳しい稽古の中で豊富な話題が楽しく有 まるものからどんどん発想とアイデアを膨らませ 会長)は、福山へ着くなりデパート巡り。目にと 楽しんだ。私のかなの師・桑田三舟先生(笹波会 筆法を会得した。私は夏雲を見て怪物を連想して

土曜日夜七時から開催されます 毎年恒例の花火大会が今週末の 一望できる我が家から夜空に咲く 大輪を一緒に眺めませんか

印で墨つぎしました。

(ご自分の氏名

[条幅・細字作品の出し方]

新入から師範まで、どなたでも出書できます。 成績(天位~5等)は、評価により毎月かわり

書体変換、変体仮名の交換は自由です。

- 11 -

(条幅解説)唐の草書の名手懐素は、夏雲を見て運

★幼年は、 **◆ひらがなトレーニング**(なぞってかいてみよう) ょ 2 う 全員8マス用紙で出書して下さい。 年少・年中・年長の別を記入して下さい。 年 3 4 〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる) 2 3 小 年 (注) えんぴつ書きでは、 かい 幼年~小三年まで 月日月月 消しゴムを使ってはいけません。 三五 宅游 容さ しろ 準初段以上 玉裳 八九白白 書

小

準初段以上

小

Ξ

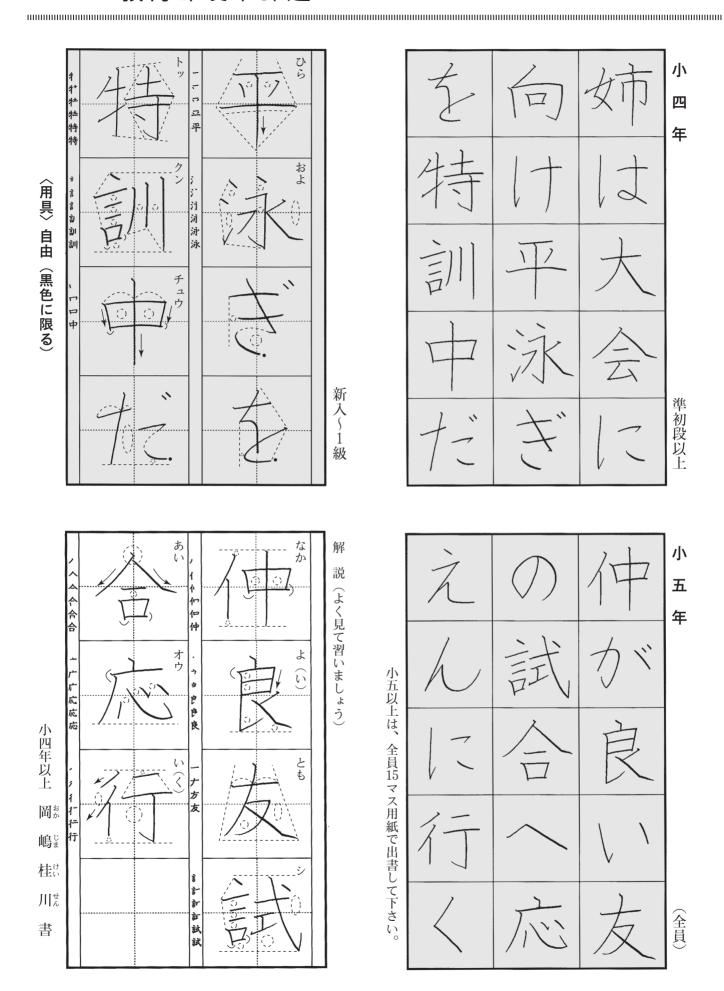
年

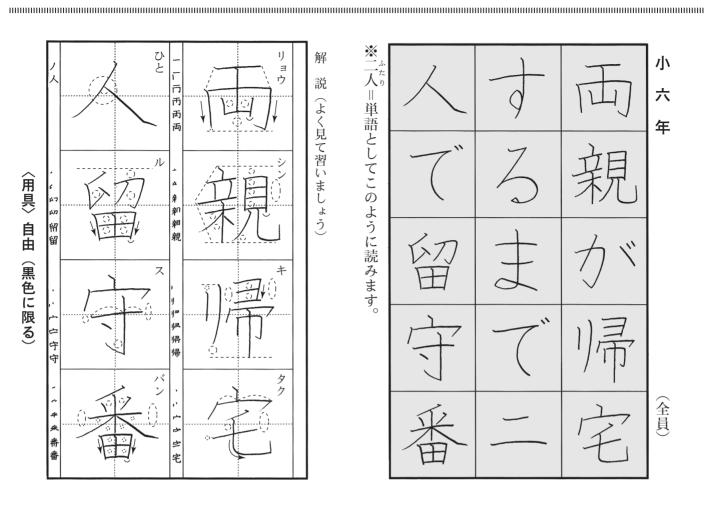
ケイででまかってまなか

・ 洋し二厶を使ってにいじません

	出	休	日
(注)にしゅう書きでは、	書	7	記
当	H	\bigcirc	帳
ゴムを使っては、けません。	#	思	1
ヽナモナ.v°	1	()	夏

準初段以上



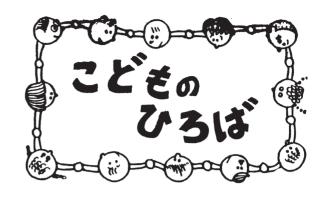


※二人=単語としてこのように読みます。

一大 一 一 一 番 一 本 第 一 名				
でる親留がずで帰		7	西	
一丁一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		3	親	'
7	公田	#	カベ	
番二定	宁		师	
	番		宅	(全員)

中二・三年 (行書)

中 年 (行書)



しめきり 8月24日(必着)

習っていない漢字は ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 清 水 希 光 書

◇作品の出し方

- 選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- たらい。 作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて
- 筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- を適当に短くして下さい。四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章
- 成績は評価により毎月変わります。
- **ていない方は新入とみなします。** 支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。**貼っ**

◎お手本はえんぴつ使用



◎お手本はつけペン使用













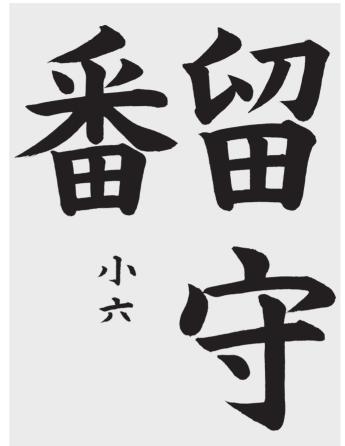






玉 t ま 樹き 小りょう

水ず 野の 香き 竹さ 書



※行書は線の連なり(気脈)に注意しよう。

